

# 令和 7 年度人事異動の概要

## 八戸市

# 人事異動のポイント

- ・ 第7次八戸市総合計画・未来共創推進戦略2025に基づく取組を強力に推進
- ・ 新たな行政需要への適切な対応
- ・ 市民サービスの更なる向上と効果的・効率的な行政運営
- ・ 職員の能力及び適性を最大限に活かす配置と処遇
- ・ 更なる組織力の強化のため増員
- ・ 実務能力向上のため国等へ派遣

# 異動者（市民病院・交通部含む）

## ①全体の異動者

※退職・採用・出向・昇任等を含む

8 0 4 名（前年度 8 1 7 名）

うち昇任者数 1 6 9 名（前年度 1 7 0 名）

## ②幹部職員の昇任

- ・ 部長級へ 5 名（前年度 4 名）
- ・ 次長級へ 1 2 名（前年度 1 6 名）
- ・ 課長級へ 2 0 名（前年度 3 0 名）

# 機構改革の考え方

- ・ 市民サービスの一層の向上
- ・ 効率的な行財政運営
- ・ 新たな行政需要に対する組織体制の  
更なる充実・強化

# 機構改革

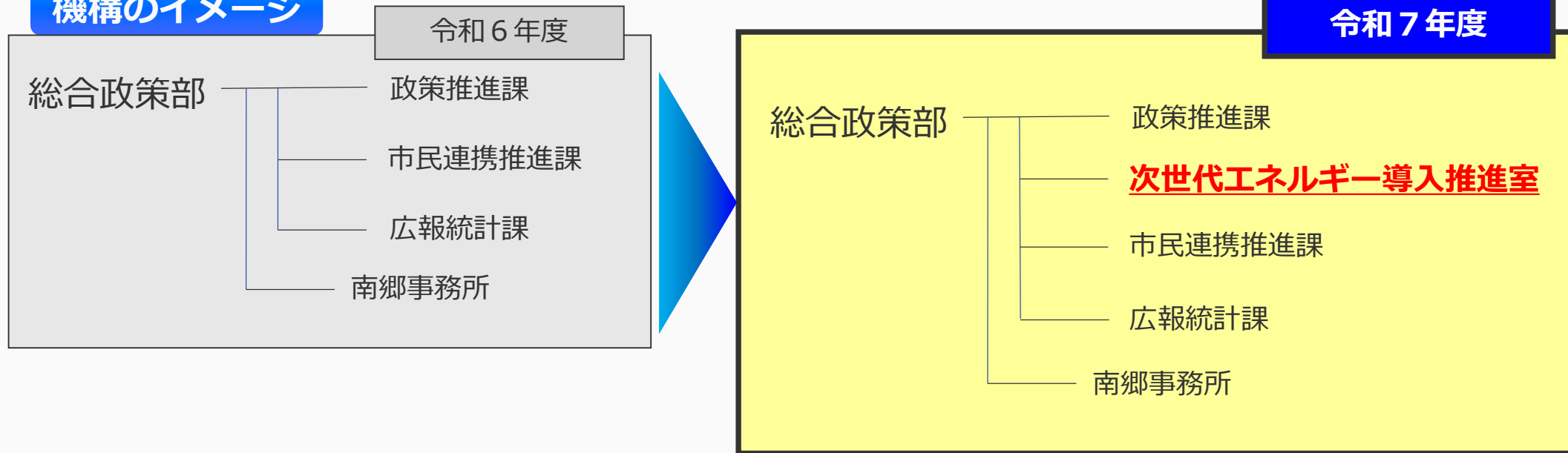
- ① 次世代エネルギー導入推進室の新設
- ② 国民スポーツ大会準備室の名称変更・グループの新設
- ③ 道路建設課 新大橋建設推進室の廃止
- ④ 下水道施設課 グループの再編
- ⑤ 総合教育センター グループ制の廃止

# ①次世代エネルギー導入推進室の新設

## 目的と概要

- 国が進めるカーボンニュートラルへの対応、企業のエネルギー転換や供給拠点としての基盤づくり、市民の環境対策に対する意識向上の促進など各種取組を推進するため総合政策部内に課レベルの次世代エネルギー導入推進室を新設する。

## 機構のイメージ

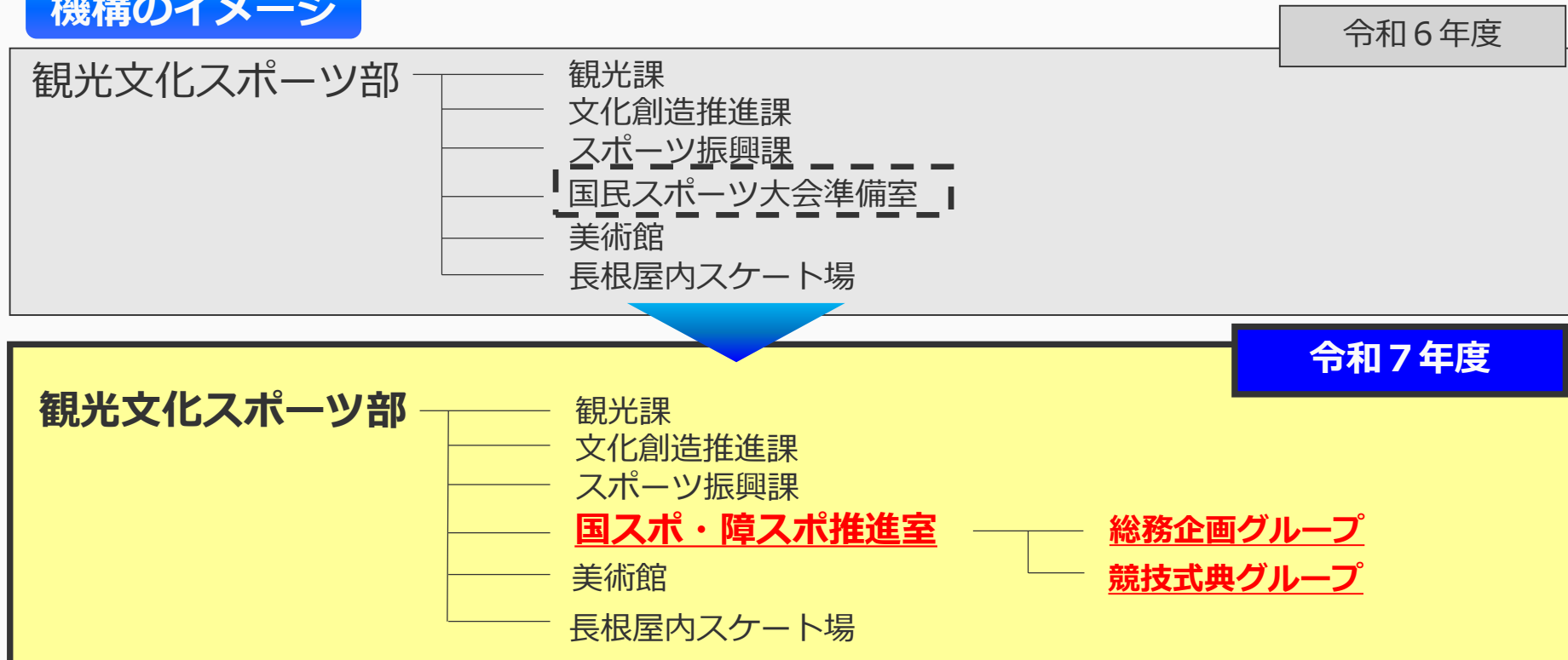


## ②国民スポーツ大会準備室の名称変更・グループ新設

### 目的と概要

- 令和7年度に開催されるプレ大会及び冬季大会から令和8年度の本大会開催までの準備・運営を円滑に進めるため、室の名称を国スポ・障スポ推進室に変更するとともに、室内に2グループを新設する。

### 機構のイメージ



# ③～⑤までの機構改革

## ③道路建設課 新大橋建設推進室の廃止

平成30年度に着手した新大橋の架替工事が完了することから、新大橋建設推進室を廃止する。

## ④下水道施設課 グループの再編

下水道施設の施設管理及び事業場への立入検査を一体的に行うことにより、業務の効率化を図るため、水質検査グループを施設管理グループに統合する。

## ⑤総合教育センター グループ制の廃止

教育DXやGIGAスクール構想、児童科学館の改修など教職員研修以外の業務を効率的かつ円滑に推進するため、グループ制を廃止する。（現在設置している研修グループを廃止）

# 職員数

**総職員数（令和7年4月1日現在）**

※市民病院、交通部及び広域事務組合等への派遣含む

2,600名

（前年比42名の増、前年度2,558名）

**うち市民病院、交通部及び広域事務組合等への派遣を除いた職員数**

1,383名

（前年比7名の増、前年度1,376名）

# 女性職員の登用

## 昇任者数

※市民病院、交通部及び広域事務組合等への派遣を除く

- ・ 次長級へ 1 名 (前年度 2 名)
- ・ 課長級へ 0 名 (前年度 3 名)
- ・ 課長補佐級へ 5 名 (前年度 5 名)
- ・ 班長級へ 1 1 名 (前年度 9 名)
- ・ 主査級へ 1 9 名 (前年度 1 7 名)

## 班長級以上の女性職員数 (令和7年4月1日現在)

※市民病院、交通部及び広域事務組合等への派遣を除く

1 6 9 名 (前年度 1 6 5 名)

# 人事交流・職員派遣①

## 人事交流

### ○総務省

- ・ 総務省→市へ 1名

### ○厚生労働省東北厚生局

- ・ 市→東北厚生局へ 1名
- ・ 東北厚生局→市へ 1名

## 派遣

### ○内閣府 1名

### ○総務省 1名

### ○トヨタ自動車(株) 1名

### ○(株)まちづくり八戸 1名

### ○青森県後期高齢者医療広域連合 2名

### ○(一財)VISITはちのへ 6名

### ○南相馬市 1名（新規派遣）

# 人事交流・職員派遣②

## 派遣受入（併任）

- ・ 青森県（青森県警察） 2名
- ・ 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 2名

# 交通部の人事異動

## 異動者数

17名（前年度19名）

うち昇任者数5名（前年度2名）

## 職員数（令和6年4月1日現在）

74名

（前年比1名の減、前年度75名）